

次世代ヘルスケア関連 ビジネスセミナー



健康の願いを叶える秋田のビジネスとは

新たな産業分野として注目が高まる「次世代ヘルスケア産業」。あきた企業活性化センターは、この新産業を担うあるいは参入を検討する県内事業者への情報提供を目的として、2021年2月18日に「次世代ヘルスケア関連ビジネスセミナー」を開催した。セミナーは秋田市のALVEシアターを会場とし、リモートと合わせて33名が参加した。

はじめに、秋田県地域産業振興課より、秋田県次世代ヘルスケア産業協議会の活動報告と今後の方針説明が行われ、その後、ヘルスケア事業に取り組んでいる県内外の企業による講演、質疑応答が行われた。



誤嚥防止を目的とした製品
「タン練くん」の開発と販売
について

株式会社リハートテック
取締役 **笠原 直樹**氏
かさらは なおき

歯科医師として30年以上の経験を持つ笠原氏。「老人ホームの訪問口腔ケアで誤嚥に苦しむ高齢者の現状を目の当たりにし、加齢により衰える嚥下力を高める重要性を痛感した」と開発に至った経緯を述べた。口腔嚥下機能訓練具「タン練くん」は、水やお茶を入れて飲むことで舌や喉周りの筋肉を鍛えることが可能。3か月の使用で舌圧が平均10～15Kpa上がったという検証データが紹介された。「誤嚥性肺炎の主たる要因が舌圧低下であることが明らかにされています。舌圧を鍛えて誤嚥を防ぎ、生き生きと過ごせる社会にしたい」。



秋田ご当地サプリメント
「潤彩小町」開発～拡販
から見る収穫と課題

株式会社サノ
代表取締役 **佐野 宗孝**氏
さの むねたか

グループが運営する薬局をご利用いただくお客様の生の声を拾い、便通改善を狙った商品を開発した。秋田県産の酒粕とじゅんさいを掛け合わせたサプリメントを秋田県総合食品研究センターと共同研究。ECサイト等の販売チャネルの他、美容業界からのオファーによる原料供給の例を紹介。発売後に見えた収穫と課題として、パッケージ・広告への効能表示の問題や4P戦略の難しさを挙げた。「健康食品市場を熟知し、逆算して商品設計を。「良いものだから絶対売れるはず」では売れない」。



遊びと運動機能促進を
融合したプログラム
「デジレク」の開発と販売

株式会社ゼロウム
代表取締役 **伊藤 茂之**氏
いとう しげゆき

課題解決型介護福祉機器開発事業の採択を受け開発。測域センサにより壁面・床面をインタラクティブコンテンツ化するシステム「インタラクティブウォール(自社開発)」が使用され、1プレイ3～6分程度のゲームが楽しめる。期待できる効果は、身体動作の改善や運動不足・ストレスの解消等。「楽しい!という気持ちが自主的活動の大きな動機となり、効果的なりハビリやレクリエーションに繋がる」と伊藤氏。「手裏剣ざんまい」「屋台の射的」等のコンテンツを実演した。



参加者の声

秋田医療福祉株式会社
代表取締役社長 **佐藤 龍馬**氏
さとう りょうま

当社では、不動産事業、市清掃センター運転管理受託、介護事業、メディカルサプライ事業を行っております。秋田で活躍される先輩方がどのように新たな取り組みに挑戦されているのか勉強をさせていただきたく参加しました。世の為人の為に開発製造し、利益は後から付いてくること、発想の転換や未来を見据えての事業展開を考えること、戦略の難しさなど大変参考になりました。

若者の県外就職が増えていますが、若い発想で、県内でも挑戦できると感じました。今後は海外に向けて事業展開を行う予定です。先輩方の発想・戦略が実りある刺激になりました。